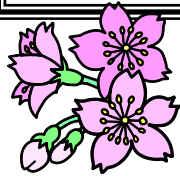


# 学校図書館支援センター通信

NO 7

4月号

平成20年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）



## 子どもたちの笑顔輝く学校図書館に！

～今年度もよろしくお祈りします～

4月！学校が1年で一番若々しく新鮮な気に満ちるときです。子どもたちや先生方に新しい顔が加わり、学校が活気にあふれていますね。学校図書館員さんも4人の新任の方を迎え、5人の方が新しい学校へ異動されました。学校図書館が、子どもたちの学びを支え、笑顔が輝く場となるよう、皆さんと協力して、支援センター事業を進めていきたいと思っております。今年度もどうぞよろしくお祈りします。

新任学校図書館員さんのご紹介（敬称略） ～よろしくお祈りします！～



三好 京子（真間小学校）

お久しぶりです。浦安市で学校司書をしていましたが、また、市川で仕事をしたいと思い、帰って参りました。今は、趣味の読書が仕事になってしまいましたが、小物作りも大好きです。

井垣 葉子（国分小学校）

静岡県出身。一人でも多くの子どもたちに読書の楽しさを伝え、また、新しい分野の本と出会えるような環境づくりを心がけていきたいと思っております。ご指導のほど、よろしくお祈りいたします。

黒田 久恵（平田小学校）

生まれも育ちも市川市です。学校図書館員という形で子どもたちと接することとなり、今からワクワクしています。現場の経験は無く不安もありますが、マイベストを尽くしたいと思っています。

川田 公美子（二俣小学校）

この度、学校図書館員に採用していただいたこと、大変うれしく思っております。初めてのことで不安もありますが、子どもたちの読書や学習の充実のため、がんばります！！



4月23日は「子ども読書の日」！

平成13年12月「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定されました。この法律は、子どもの読書活動推進のための環境整備を図ることを目的に、子どもの読書推進に関する基本理念を定めています。また、子どもの読書意欲向上のために、4月23日を「子ども読書の日」として定め、その趣旨にふさわしい様々な取組みを実施することとしています。

子どもたちの実態をふまえ、学校としてどのような取組みができるか、司書教諭を中心に、図書館部会で話し合ってみるのもいいですね。

4月10日・11日・14日の3日間で、「学校図書館コンピュータ研修会」を実施しました。新任図書館員の皆さん、希望研修をされた皆さんに大好評でした！講師として、ご協力いただきました学校司書の皆さん、ありがとうございました。

## 図書館Q&A

本の分類を確認（見直し）しましょう！



Q：本の分類は、どのようにするのが、望ましいのでしょうか。

A：装備を外部に依頼していますが、学校で分類の方針を定め、本の分類（分類番号・図書記号・巻冊記号）を確認（見直し）しましょう。

本の分類（分類番号・図書記号・巻冊記号）を表示することは、使いやすい図書館づくりの基本です。子どもたちが読みたい本をすぐ手に取れるよう、本の分類方針を明らかにしましょう。装備を外部（TRCなど）に依頼していますが、自校の分類の方針に合わせて、分類番号・図書記号・巻冊記号を確認しましょう。

例えば、子どもたちに人気の『怪談レストラン』シリーズは、図書記号を「カ」にすると、シリーズでまとめて配架することができます。また、レイフ クリスチャンソンの『あなたへ』のシリーズは、分類番号を「949（北欧文学）」から「150（倫理学・道徳）」に変更することで、子どもが本と出会う機会が増えるかもしれません。『ハリーポッター』シリーズなどは、巻冊記号を入れてもよいでしょう。



いずれにしても、自校の分類の方針を学校図書館部会などで検討し、決めていくことが大切です。分類番号などを変更したらラベルを貼りかえます。コンピュータ上のデータの変更もお忘れなく！

詳しくは、市川市学校司書連絡会作成の『整備規定』の「4. 図書の分類」をご覧ください。（各学校図書館に配付済）また、『日本十進分類法』の本をいつも手元に置いておきましょう。

## 図書館の窓から

～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～



図書委員会第一日目には、自分たちの目標を定めます。ともすると、「当番を忘れない」という即物的な目標になりがちなか中、再確認をしました。「委員会活動は、先生のお手伝いをするものではない」ということです。言われたことをやるのではなく、自分たちで考えて動くことが肝心です。そこで、「みんなにもっと本に親しんでもらおう」「みんなに本のおもしろさをわかってもらおう」となりました。

ここでまた、ちょっと待った。「本のおもしろさ」ってなあに？「おもしろい」と感じるその感じかたは、人によって違います。おもしろさというものは一様ではありません。そこで、目標は上のように掲げながらも、具体目標を付け足しました。今年のそれは「自分にとっておもしろい本をたくさんみつけよう」というものです。ゆっくりと時間をかけて、「本のおもしろさをつたえる」ということを考えていくこととなりました。

（稲越小学校 学校司書 高桑弥須子）

### 路子の部屋

3月28日「新学習指導要領」が告示されました。その改善についての答申には、「言語活動の充実、各教科等を貫く重要な改善の視点」と記され、読書活動の推進・学校図書館の活用もうたわれています。実際のところ、学校図書館が本来の力を発揮するには、先生方が授業でどれだけ活用していただけるかがポイントです。学校の中で、学校図書館が、組織的に機能するよう、先生方への働きかけがカギを握っています。

